

「地域ケア会議」をはじめとする多職種連携の会議における

ファシリテーション研修

●目的

ファシリテーション技術を習得することで、地域ケア会議をはじめとする多職種連携会議の充実をはかり、個別ケース支援、高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援、地域包括支援ネットワーク構築、地域課題の把握、及び、地域資源の創出をめざします。

●対象 地域包括支援センタースタッフ、及び地域連携の会議参加者など

●時間 3～4時間(2時間×2回の実施可能)

●講師 ホワイトボード・ミーティング®認定講師

●方法 対面・オンライン

●準備物 ホワイトボード(4人に1面)※模造紙等で代用可能 マーカー(黒・赤・青)

●効果 ①ホワイトボードに意見を可視化する効果的な話し合いの方法を学べます。

②強みをいかし支援チームの協働力が高まります。

③ホワイトボードケース会議で、アセスメント力、ケアマネジメント力が向上します。

●プログラムの例(ご要望によりアレンジします)

理論	1 ファシリテーションの基礎 2 地域における高齢者の自立支援に有効なファシリテーションスキル 3 会議の効果的な進め方―課題の抽出と具体的な手立て
演習①	1 ホワイトボード・ミーティング®とはーホワイトボードケース会議の進め方 2 当事者理解や情報共有が促進されるファシリテーターの質問スキル 3 事例検討のサイドワーク(参加者)レッスン
演習②	1 事例検討のファシリテーターレッスン(情報共有→アセスメント→支援策立案) ・ペアで事例検討 ・グループで事例検討
演習③	1 振り返り演習 2 まとめ

●受講者の声

・多職種連携の協議会でオンライン会議を実施しています。ファシリテーションがあることで、多様な専門職が活発に意見交換できるようになりました。(地域包括支援センター・主任介護支援専門員)

・支援者が解決困難だと思っていた問題も、みんなでホワイトボードに意見を出し合うと、多様な意見やヒントが可視化され、解決に向けた見通しがもてました。(居宅介護支援事業所・主任介護支援専門員)